

ハイテムの自社製造工場 「スターハイテム」が順調に稼働中

(株)ハイテム(本社各務原市、安田勝彦社長)は、平成二十一年に自社製造工場「スターハイテム」(星海泰設備製造有限公司)を中国天津に設立、二十一年から稼働を開始している。

スターハイテムでは製造のみをハイテムの技術と品質管理の下、スターハイテム総経理(ジェネラルマネージャー)が、現地の勤勉でコスト競争力のある労働力を指揮する体制を進めており、破卵の徹底減少、安定したふん乾、トラブルフリーの除ふん、耐震仕様等、図面を含む技術関係業務は、すべてハイテムがメーカーとして日本で行っている。

さらに、ハイテムでは技術、品質管理を徹底するため、中部国際空港から三時間の地の利を活かし、安田社長はじめ技術スタッフがスターハイテムに週単位で赴く体制を構築している。

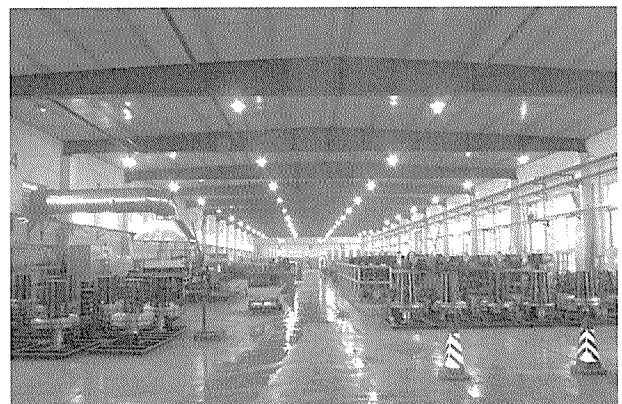
同社が二十三年間取組んできた直立ベルトケージを、ハイテム直立ベルトケージとして自社生産化する中で、同社は使いやすさやメンテナンス



スターハイテム外観

スのしやすさなどで5%の性能アップと従来価格の10%ダウンを目標に取り進めを図っており、昨年秋季から納入が全国的に着実に増加している。受注も好調で年内の工場予定稼働率が予想を上回りつつあることから、今秋に向け設備増設の検討に入っている。

ハイテムでは自社工場稼働に伴う業容拡大に、ユーザーのニーズにより多く応える形で対応するため、不況を前向きに活用し、同社の次世代



ケージ製造ライン

を担う人材を工学部系新卒を中心に積極的に採用し、育成するプログラムを展開している。

次世代を担う人材には今後、世界人口の六割を占めるアジアで進展が予測される養鶏オートメーションに、日本の養鶏現場で磨かれた機器、システムを展開していくことも期待したいとしている。